

# 立命館大学父母教育後援会

## 2010 年度総会 議案

日時 2010 年 6 月 5 日(土) 16:00～

場所 グランドプリンスホテル京都

議題

1. 2010 年度委員・役員の選出について
2. 2009 年度事業および決算報告について
3. 2010 年度事業計画および予算案について

立命館大学父母教育後援会

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

TEL:075-813-8261/FAX:075-813-8262

URL:<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/fubo/index.htm>

Mail:[fubo@st.ritsumei.ac.jp](mailto:fubo@st.ritsumei.ac.jp)

# 1. 2010 年度委員・役員の選出について

## (1) 名誉会長

2010 年度立命館大学父母教育後援会名誉会長は、川口清史立命館大学長がこれをつとめる(立命館大学父母教育後援会会則第 7 条 2 項)。

## (2) 会長、副会長、監事、委員、常任委員選出

2010 年度総会は、会長、副会長、監事及び委員を選出し(会則第 8 条 1 項)、委員の中から常任委員を選出する(会則第 8 条 3 号)。

慣例により常任委員は和歌山県を除く近畿地域在住の委員がこれをつとめる。

2009 年度第 6 回常任委員会は、2010 年度総会へ、別紙のとおり同役員案を提出する。

## (3) 大学選出副会長

2010 年度大学選出副会長は、上田寛立命館大学副学長、飯田健夫立命館大学副学長がこれをつとめる。

会則は「副会長のうち 2 名は副学長及び専務理事をもってあてる」(会則第 8 条 2 号)と定めるが、2003 年度第 3 回常任委員会は学園における役員の異動を考慮して大学は副学長 2 名を副会長にあてることとした。これを継承する。

## (4) 幹事長、幹事、顧問

2010 年度幹事長及び幹事は、特別会員(大学に勤務する教職員)の中から会長が委嘱する(会則第 8 条 4 号)。

2010 年度顧問は、大学関係者の中から常任委員会の議を経て会長が委嘱する(会則第 8 条 6 号)。2009 年度第 6 回常任委員会は、会長へ別紙のとおり顧問案を提出する。

## \* 役員の任期

・父母委員は、当年度総会から次年度総会まで 1 年間の任期をつとめる(再任を妨げない)(会則第 10 条)。卒業等によって学部学生の父母でなくなった場合は会員でなくなり(会則第 3 条 1 号)委員の任期も終了する(ただし卒業等の事由を生じた場合でも、会長は翌年の総会まで、監事は会務・会計監査を終えるまで任期を継続する(慣例による))。

・大学選出役員は大学学年暦どおり 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日まで 1 年間の任期をつとめる(学園役職の異動に準じて着・退任する(慣例による))。

以上

<2010年度 役員一覧>

役職	都道府県	委員氏名	学部	回生	役職	都道府県	委員氏名	学部	回生	
会長	京都府	千 宗室	法	2	委員	石川県	喜多 仁嗣	経済	3	
副会長	京都府	今西 清裕	経済	4		石川県	半座 磨利子	経済	3	
監事	滋賀県	桑原 淳子	経済	4		福井県	○ 田中 保雄	理工	4	
	京都府	馬場 慶子	産社	3		福井県	川口 恭央	法	4	
常任委員	大阪府	日浦 良夫	産社	2		岐阜県	○ 松田 慶子	経済	2	
	大阪府	○ 船引 玲子	文	4		岐阜県	○ 中野 浩之	政策	3	
	滋賀県	○ 小林 浩子	国際関係	1		静岡県	寺尾 立	国関	3	
	滋賀県	○ 高橋 和雄	経営	2		静岡県	深田 真紀	産社	4	
	京都府	○ 石原 純子	文	2		愛知県	花井 義一	理工	4	
	京都府	○ 野村 一雄	経済	3		愛知県	○ 隅田 洋一	産社	2	
	奈良県	○ 西田 裕紀	文	2		三重県	小村 寿郎	理工	4	
	奈良県	○ 熊木 尚子	産社	4		三重県	中西 清司	情報	4	
	兵庫県	太田 勝之	経済	3		和歌山県	○ 辻 美和	経済	2	
	兵庫県	○ 水野 敏行	経営	3		和歌山県	三木 貴行	法	4	
	委員	北海道	長江 千恵	産社		4	鳥取県	赤坂 葉子	経営・ス	3・1
		北海道	○ 工藤 久美子	法		4	鳥取県	池淵 建夫	理工	4
		青森県	○ 村上 真理子	文		2	島根県	小村 健実	経済	4
青森県		○ 福士 雅巳	法	3		島根県	寺本 稔	理工	4	
岩手県		佐々木 稔	国関・文	4・2		岡山県	○ 赤木 周一	経済	3	
岩手県		○ 平井 孝典	経済	3		岡山県	市川 昭	産社	4	
秋田県		○ 幸坂 金光	生命	2		広島県	坂田 睦子	経済	4	
秋田県		根田 明樹	経営	3		広島県	内海 奈美江	理工	4	
山形県		○ 伊藤 顕治	文	2		山口県	西丸 隆	情報	4	
山形県		横山 敏子	経済	3		山口県	○ 江藤 龍夫	産業社会	2	
宮城県		大宮 邦枝	映像	4		香川県	○ 松下 俊一	法	2	
宮城県		小山 順子	産社	3		香川県	田邊 昌寛	理工	4	
福島県		○ 小林 美紀子	理工	2		徳島県	西野 陽一	法	3	
福島県		星 俊光	経済	4		徳島県	逢坂 伸司	経営・経営	4・2	
茨城県		井坂 正典	産社	4		高知県	○ 江淵 美佐	経営	4	
茨城県		○ 深谷 正史	政策	3		高知県	○ 里見 律	経済	3	
千葉県		○ 黒川 忍	国関	2		愛媛県	越智 由香里	法	4	
千葉県		中牟田 満子	法	1		愛媛県	○ 寺谷 瑞枝	政策	2	
埼玉県		沼田 好晴	理工	3		福岡県	石津 博睦	理工・経営	4・2	
埼玉県		○ 三ヶ島 佐恵子	理工	3		福岡県	花田 泰典	国関	4	
東京都		松野 真弓	映像	4		佐賀県	○ 天本 豊	理工	3	
東京都		永井 勇	映像	3		佐賀県	諸岡 譲	法	3	
神奈川県		小川 恭子	産社	4		長崎県	木下 健一郎	情報	3	
神奈川県		○ 近藤 肇	経済	2		長崎県	川原 直勝	経済	5	
山梨県		○ 望月 雅樹	法	2		熊本県	荒木 通	文	5	
山梨県		鈴木 徳明	文	4		熊本県	坂本 省一	産社	3	
栃木県		中里 光江	映像	3		大分県	○ 賀来 慎一郎	理工	2	
栃木県		○ 横松 盛人	文	2		大分県	豊村 浩子	映像	4	
群馬県		○ 岩井 泉	生命	3		宮崎県	湯浅 まき子	理工	3	
群馬県		鹿沼 玉代	法	4		宮崎県	元日田 勉	法	4	
長野県		○ 勝野 恒彦	文	2		鹿児島県	濱田 時久	情報	3	
長野県		北林 芳枝	情報	4		鹿児島県	巻木 春男	法	4	
新潟県		坂井 信博	経済	4		沖縄県	仲里 雅之	文	4	
新潟県		皆川 卓夫	映像	4	沖縄県	島 貞夫	経営	5		
富山県		○ 上田 晋介	薬	3						
富山県		吉井 哲三	文	4						

※敬称略

98名(○印37名は新任)

<2010年度 大学選出役員>

役 職	学 園 役 職	新任	氏 名
名誉会長	総長・学長		川口 清史
副会長	副総長・副学長		上田 寛
	副総長・副学長	○	飯田 健夫
顧 問	理事長		長田 豊臣
	教学担当常務理事		中村 正
	学生担当常務理事		國廣 敏文
	総務担当常務理事		森島 朋三
	法学部長		二宮 周平
	経済学部長	○	松原 豊彦
	経営学部長		齋藤 雅通
	産業社会学部長		佐藤 春吉
	国際関係学部長		板木 雅彦
	政策科学部長		本田 豊
	映像学部長		大森 康宏
	文学部長	○	桂島 宣弘
	理工学部長		坂根 政男
	情報理工学部長		大久保 英嗣
	生命科学部長		谷口 吉弘
	薬学部長		北 泰行
スポーツ健康科学部長	○	田畑 泉	
幹事長	教学部長		石井 秀則
幹 事	教学部副部長	○	池田 伸
	学生部副部長		白石 晴樹
	キャリアセンター副部長		高山 茂
	図書館副館長	○	高倉 秀行
	国際部副部長	○	中川 優子
	教学部次長(衣笠担当)		徳永 寿老
	教学部次長(BKC担当)		本村 廣司
	学生部次長		北田 正知
	キャリアセンター次長		浅野 昭人
	図書館次長		武山 精志
	国際部事務部長		相根 誠
	社会連携部長	○	縄本 敏

33名(○印新任8名)

## 2. 2009 年度 事業および決算報告について

### (1) 懇談会事業

日程・懇談会名	実施内容
5 月 16 日(土) 総会	リーガロイヤルホテル京都にて開催。全国 47 都道府県から 93 名の父母委員に加えて、大学役員など総勢 123 名が参加した。
5 月 17 日(日) 春の オープンカレッジ	衣笠・BKC の両キャンパスにて開催。 1～2 回生父母向けの「学生生活講演会」、「進路就職講演会」、「留学説明会」、「スキルアップ説明会」、3～4 回生父母向け「就職相談会」「大学院進学説明会」等のテーマ別懇談会に加え、「キャンパス見学会」の企画を実施。両キャンパス合わせて、3,566 名の申込みで当日約 2,361 名(2008 年度 2,300 名)が参加した。
5 月 31 日(日) ～ 7 月 26 日(日) 都道府県 父母教育懇談会	全国 47 都道府県 49 会場で開催。全会場で約 5,663 名を超える父母が参加し昨年度比 133%(2008 年度 4,269 名)となった。参加者数が増加した要因としては、この間の社会情勢を鑑み、学生の進路・就職に対する父母の関心が高くなったことが挙げられる。全国的に参加者の増加傾向はあるものの、従来、他の地域に比べて低い傾向のあった近畿圏での参加者が急増した。
11 月 21 日(土) 秋の オープンカレッジ	衣笠・BKC の両キャンパスにて開催。 午前に「学生生活講演会」、「進路就職講演会」、「アカデミック講演会」を、午後に「学部別懇談会」を実施。両キャンパス合わせて 2,168 名(2008 年度 2,128 名)が参加した。
11 月 22 日(日) アカデミック京都 ウォッチング	京都歴史回廊協議会特選コース 1 コース、本学教員と京都の歴史・文化・街を訪ねるコース 9 コース、学生ガイドと巡るコース 3 コースの計 13 コース 520 名の規模で実施した。父母からは 440 組 804 名の参加申し込みがあった。

### (2) 学生教育支援事業

#### ① 正課等教育支援

支援事業	実施内容
サブゼミアワー活動 支援事業	各学部基礎演習・専門演習等でのフィールドワーク、サブゼミアワーを利用した初年時に必要なスキルアップのための講座取り組み、1 回生小集団の成果発表の場である報告会・大会等の実施に支援した。
表彰制度支援事業	各学部・インスティテュートにおいて正課等で顕著な実績をあげた学生 796 名を表彰した。
入学式典開催 支援事業	入学式において、学生団体の活動等に対して支援した。

②課外活動支援

支援事業	実施内容
全学行事 支援事業	応援グッズの作成や、地方でおこなわれる試合等へ応援バスを配車するなど、学生への応援事業や学園祭等の全学行事に支援した。
シャトルバス 支援事業	BKC－衣笠キャンパス間のシャトルバスの乗車料補助をおこなった。

③進路就職支援

支援事業	実施内容
就職活動 支援事業	キャリアフォーラムの実施(全国11会場)、SPI 模擬試験受験料補助、PLACEMENT GUIDE の作成、父母キャリアデザインブックの作成、スチューデント・ネットワークの構築(JA,CA 懇談会の開催)に支援した。
資格試験等 図書支援事業	進路・就職関係および資格取得資料図書、低回生からの社会観・労働観を涵養する図書、一般教養や読む力を育成する図書の購入に支援した。

④国際交流支援

支援事業	実施内容
留学生支援事業	留学生の国民健康保険料の補助において、232 名から申請があり支援した。
国際交流 支援事業	国際交流バスツアー、留学相談アドバイザーによる留学支援事業など、日本人学生と留学生との交流事業に支援した。

⑤奨学金支援

支援事業	実施内容
修学援助 奨学金支援	学費負担者の死亡により修学することが困難なものへの援助において、年間 30 名の出願があり、有資格者 30 名全員を採用した。
家計急変 奨学金支援	学費負担者の病気・解雇・倒産等により家計が急変し、修学が困難なものへの援助において、年間 247 名の出願があり、有資格者 101 名を採用した。

### (3) 広報・通信事業

#### ① 父母教育後援会だより(会報)の発行

父母会だより「夏号」を2009年8月に「冬号」2010年2月にそれぞれ33,000部発行した。

#### ② ホームページのリニューアル

2009年4月にホームページのリニューアルを実施した。大学や学生生活のタイムリーな話題の提供や進路・就職等、父母の関心の高い情報を提供できるコンテンツを作成し、ホームページの充実をはかった。

#### ③ 立命館大学父母教育後援会「入会のしおり」の配付

父母会員全員に送付し、父母教育後援会の概要、年間を通しての事業、各種問い合わせ先等を紹介した。

#### ④ キャンパスカレンダーの配付

父母教育後援会作成の「キャンパスカレンダー」を父母会員全員に送付して、学年暦、学校行事などのキャンパス情報の共有をはかった。

### (4) 特別事業

#### ① プレミアムトークショーの実施

名古屋国際会議場で開催された「RITSUMEX'09in名古屋」の記念講演として講師にトヨタ自動車株式会社会長の張富士夫氏を招いた。記念講演会の後、川口総長、古田敦也氏、武田美保氏を含めて本郷副総長のコーディネートによるトークセッションをおこなった。父母、在学生、校友、地域の方を合わせて3,000名の参加があった。

#### ② 2010年度3月卒業生対象緊急就職支援

2010年度3月卒業生対象の模擬面接、面接指導を前期に522コマ、後期に192コマ実施した。それぞれに453名、149名が参加した。また、5月と8月に18,700件のヒアリングを実施し就職情報の収集をおこなうとともに、「ご求人のお願ひ」のパンフレット25,000部、「就職支援のご案内」パンフレット4,000セットを作成し、広報活動を実施した。

### (5) その他

#### ① 成績表の送付

5月に2~4回生、10月に1回生にそれぞれ成績表を送付した。

#### ② 入学記念品の作成・贈呈

入学記念品として、卓上キャンパスカレンダーを作成し、新入生全員に贈呈した。

#### ③ 卒業記念品の作成・贈呈

卒業記念品として、アクアローテーションクロック(置時計)を作成し、卒業生全員に贈呈した。

以上

# 2009年度 立命館大学父母教育後援会収支計算書

(2009年4月1日~2010年3月31日)

2010年3月31日

(単位:円)

## 収入の部

項目	予算額	決算額	差額
経常収入	361,140,000	363,874,192	△ 2,734,192
会費収入	360,000,000	362,970,000	△ 2,970,000
過年度会費収入	0		
卒業生父母資料費収入	250,000	284,000	△ 34,000
預金利息収入	250,000	75,144	174,856
基金積立金利息収入	150,000	55,048	94,952
有価証券利息収入	490,000	490,000	0
雑収入			
前年度繰越金	82,575,947	82,575,947	
収入の部 合計 (A)	443,715,947	446,450,139	△ 2,734,192

## 支出の部

※収入の部の△は、収入超過

項目	予算額	決算額	差額
I. 事業費支出	342,000,000	321,693,991	20,306,009
1. 懇談会開催事業支出	94,360,000	107,563,270	△ 13,203,270
春のオープンカレッジ支出	14,960,000	16,370,535	△ 1,410,535
会場費支出			
業務委託費支出	2,600,000	2,882,551	△ 282,551
通信運搬費支出	2,900,000	3,513,732	△ 613,732
印刷費支出	8,600,000	9,109,728	△ 509,728
謝礼金支出	550,000	528,920	21,080
旅費交通費支出		94,190	△ 94,190
雑費支出	310,000	241,414	68,586
都道府県父母懇談会支出	59,830,000	67,208,434	△ 7,378,434
会場費支出	35,000,000	42,222,222	△ 7,222,222
業務委託費支出	970,000	1,351,211	△ 381,211
通信運搬費支出	3,300,000	4,075,991	△ 775,991
印刷費支出	4,800,000	5,022,769	△ 222,769
謝礼金支出	500,000	575,517	△ 75,517
旅費交通費支出	15,000,000	13,698,101	1,301,899
雑費支出	260,000	262,623	△ 2,623
秋のオープンカレッジ支出	13,970,000	13,978,601	△ 8,601
会場費支出			
業務委託費支出	7,000,000	6,333,722	666,278
通信運搬費支出	3,330,000	3,442,639	△ 112,639
印刷費支出	2,650,000	2,264,472	385,528
謝礼金支出	375,000	241,098	133,902
旅費交通費支出	55,000	12,120	42,880
雑費支出	560,000	1,684,550	△ 1,124,550
共通費支出	5,600,000	10,005,700	△ 4,405,700
2. 学生教育支援事業支出	194,850,000	162,508,492	32,341,508
サブゼミアワー活動支援支出	8,500,000	7,025,550	1,474,450
父母教育後援会表彰制度支出	18,000,000	18,441,015	△ 441,015
課外活動支援支出	21,000,000	14,989,924	6,010,076
入学式典開催支援支出	7,000,000	7,000,000	0
就職活動支援支出	42,000,000	42,000,000	0
資格試験等図書支援支出	6,000,000	6,000,000	0
留学生支援支出	3,000,000	2,146,930	853,070
国際交流事業支援支出	4,350,000	1,745,073	2,604,927
修学援助(緊急)奨励金支出	25,000,000	16,240,000	8,760,000
家計急変奨学金支出	60,000,000	46,920,000	13,080,000
その他			0
3. 会報・学園案内広報事業支出	23,190,000	23,636,235	△ 446,235
会報発行費支出	20,000,000	21,276,070	△ 1,276,070
ホームページ運営費支出	3,000,000	2,287,950	712,050
謝礼金支出	40,000	72,215	△ 32,215
雑費支出	150,000		150,000
4. その他事業支出	29,600,000	27,985,994	1,614,006
入学記念品作成費支出	2,000,000	1,747,200	252,800
卒業記念品作成費支出	9,000,000	8,405,334	594,666
父母成績送付費支出	3,600,000	2,833,460	766,540
災害見舞金支出			
校友大会父母企画支出	5,000,000	5,000,000	0
キャリア支援支出	10,000,000	10,000,000	0
その他			
II. 管理費支出	39,700,000	33,697,243	6,002,757
会議費支出	13,000,000	11,671,234	1,328,766
事務費支出	3,200,000	3,641,653	△ 441,653
人件費支出	23,500,000	18,384,356	5,115,644
III. 予備費支出	35,015,947		35,015,947
IV. 父母教育後援会基金積立金繰入支出			0
当期支出合計 (I + II + III + IV) (B)	416,715,947	355,391,234	61,324,713
次年度繰越金 (A) - (B)	27,000,000	91,058,905	△ 64,058,905

# 貸借対照表

平成22年3月31日現在

立命館大学父母教育後援会

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
<b>【流動資産】</b>	
現金	0
預金	91,007,857
基金積立預金	191,446,956 ※
<b>【固定資産】</b>	
投資有価証券	35,000,000
<b>資産の部 合計</b>	<b>317,454,813</b>

負債の部	
科目	金額
<b>【流動負債】</b>	
未払金	0
預り金	4,000
<b>負債の部 合計</b>	<b>4,000</b>
正味財産の部	
基金積立金	226,391,908
繰越金	91,058,905
<b>正味財産の部 合計</b>	<b>317,450,813</b>
<b>負債及び正味財産の部 合計</b>	<b>317,454,813</b>

※基本積立預金 191,446,956円の内55,048円は普通預金計上分(4/9振替済み)

## 独立監査人の監査報告書

平成22年4月23日

立命館大学父母教育後援会  
会長 千 宗室 殿

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士

市田 龍 

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士

吉田 敏宏 

当監査法人は、立命館大学父母教育後援会の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの2009年度計算書類、すなわち、収支計算書、貸借対照表について監査を行った。この計算書類の作成責任は会長にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、会長が採用した会計方針及びその適用方法並びに会長によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる会計の基準に準拠して、当該計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

立命館大学父母教育後援会と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監 査 報 告 書

2009年度立命館大学父母教育後援会事業報告、収支計算書ならびに関係証憑を監査し、会務及び会計はいずれも適正であることを認める。

2010年 4月 23日

立命館大学父母教育後援会

監事 桑原 淳子 

監事 馬場 慶子 

### 3. 2010 年度事業計画および予算案について

2010年度における父母教育後援会事業は以下を基本的な考え方とし、その事業の詳細は下記のとおりとする。

＜2010 年度父母教育後援会事業に関する基本的な考え方＞

- ① 懇談会事業は、これまで以上に父母のニーズに応えられる企画を検討し、その充実をはかる。
- ② 学生教育支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。
- ③ 広報・通信事業は、会報紙面の内容の充実、HPコンテンツの充実をはかる。
- ④ 特別事業は、父母の参加を含め父母教育後援会活動の新たな展開を検討する。

#### (1)懇談会事業について

2010 年度は、「総会」、「春のオープンカレッジ」、「都道府県父母教育懇談会」、「秋のオープンカレッジ・委員懇談会」、「アカデミック京都ウォッチング」の 5 つの事業を開催する。

##### ①総会

日時	場所	実施内容
6 月 5 日(土) 14:00-18:00	グランドプリンス ホテル京都	春のオープンカレッジ前日に総会を開催する。総会に先立ち記念講演会をおこなう。

##### ②春のオープンカレッジ

6 月 6 日(日) 10:00-13:00	衣笠・BKC 両キャンパス	2010 年度も学生生活講演会、留学説明会、CLA やエクステンションセンターの講座説明会等を低回生父母向けに実施する。また進路・就職企画では、1～3 回生父母向けの講演会を実施するとともに、4 回生以上の父母には学部別に個別相談会を実施する。また今年度は、立命館大学が主催するホームカミングデーと同日に開催し、学生との交流や校友とのふれあいを通して、父母に「立命館」の理解を深める機会を提供する。
---------------------------	------------------	---

##### ③都道府県父母教育懇談会

5 月 30 日(日) ～ 7 月 19 日(月) 10:00-15:00	47 都道府県 49 会場	2010 年度も、全国 49 会場(大阪・愛知は文社系・理系の 2 会場実施)で開催するが、京都・滋賀会場については、参加規模の拡大に対応できるよう各キャンパスにて開催する。 昨年同様全体会で、学生や卒業生による就職活動体験談や就職状況の説明、また履修・学生生活についての説明をおこない、その後、グループ別懇談会を実施する。2009 年度の参加者増(08 年度比 133%)を鑑み会場を設定する。
--	------------------	---

##### ④秋のオープンカレッジ・委員懇談会

11 月 20 日 (土) 10:00-16:00	衣笠・BKC 両キャンパス	2010 年度は、午前に学生生活講演会、進路就職講演会、アカデミック講演会を、午後に学部別懇談会を実施する。 父母アンケート結果を参考にし、今後、企画内容の充実をはかる。 また、昼食時に委員懇談会を開催する(12:30-13:30)。
---------------------------------	------------------	---

##### ⑤アカデミック京都ウォッチング

11 月 21 日 (日) ※時間はコース により異なる。	検討中	京都の文化や歴史について、本学教員によるミニ講義を受けたあとフィールドワークに出発する。本学教員や京都の地理や歴史に詳しい学生が同乗して説明をおこなう。 2009 年度の参加申込者が 800 名を超えたことを考慮し、事業規模の拡大を考える。内容・規模(コース数・参加者数)を検討して多くの父母が参加できるようにする。
--	-----	---

※開始・終了時間はいずれも予定時間を記載。

## (2) 学生教育支援事業について

学生教育支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。

	関連部署	名称	提案
(1) 正課等教育 支援	教育学部	サブゼミアワー 活動支援事業	『「学びのコミュニティ」の創造に向けて』に対して支援する。
		表彰制度支援事業	正課等課外活動において、優れた成果をおさめた取組を対象とした表彰制度に支援する。
		入学式典開催 支援事業	2010年度入学式典の開催に支援する。
(2) 課外活動支援	学生部	文化・スポーツ 応援事業	①全学文化・スポーツ応援活動援助(応援バス・応援団派遣等)に支援する。 ②応援グッズ(メガホン・チアスティック・横断幕・応援ポスター)の作成に支援する。 ③学生の多様な活動の日常的な情報発信・広報活動へ支援する。 ④父母や市民の共感を得られ、父母も参加できる全学行事、学園祭等の企画へ支援する。
		シャトルバス支援事業	シャトルバスの乗車料(課外活動でのキャンパス間移動)に支援する。
(3) 進路就職支援	キャリア センター	就職活動支援事業	キャリアフォーラムの実施に支援する。(2009年度は2010年2月上旬に全国11会場で開催。2010年度より内容を充実して実施。)
			SPI模擬試験受験料補助をする。(年2～4回模擬テストを実施。)
			PLACEMENT GUIDEの作成に支援する。
			父母キャリアデザインブックの作成に支援する。
			CA懇談会の実施に支援する。
	JA懇談会の実施に支援する。		
	図書館	資格試験等 図書支援事業	進路・就職関係および資格取得支援資料、社会観労働観を涵養する資料の購入に支援する。
読む力を育成し、幅広い教養を身につける資料の購入に支援する。			
(4) 国際交流支援	国際部	留学生支援事業	国民健康保険料の補助をする。
		国際交流 支援事業	バスツアー・交流企画(日帰り、宿泊、学内外企画)に支援する。
			留学相談アドバイザーによる海外留学支援活動に支援する。
(5) 奨学金支援	社会 連携部	修学援助奨学金 支援事業	学費負担者の死亡により修学することが困難な者を支援する。
		家計急変奨学金 支援事業	学費負担者の病気・解雇・倒産等により家計が急変し、修学が困難となったものを支援する。

### (3) 広報・通信事業について

広報・通信事業は、会報紙面の内容の充実、ホームページコンテンツの充実をはかる。

#### ①父母教育後援会だより(会報)の発行

年 2 回、夏号(8 月中旬)と冬号(2 月上旬)を発行する。  
掲載コンテンツの見直しをおこなってきたが、2010 年度も、会報アンケートの結果を踏まえてさらに検討を進め、読みやすく親しみの持てる誌面作りを目指す。  
\* 会報発行部数: 33,000 部数×年間 2 回  
\* 配布対象者: 父母教育後援会会員

#### ②ホームページの充実

「入会のしおり」や、懇談会等の年間スケジュールの掲載をおこなうなど、充実を図る。

#### ③立命館大学父母教育後援会「入会のしおり」の配付

父母教育後援会の概要、年間を通しての事業、各種問い合わせ先等を紹介する。  
\* 配布対象者: 父母教育後援会会員

#### ④キャンパスカレンダーの配付

学年暦や大学行事等、各キャンパスの情報発信と共有化を推進するため、2009 年度同様キャンパスカレンダーを父母教育後援会会員に配布する。

### (4) 特別事業について

特別事業は、父母の参加を含め父母教育後援会活動の新たな展開を検討する。

#### ①立命館大学が主催する 2010 年度ホームカミングデーへの共催

学園創始 140 周年、学園創立 110 周年、APU 創立 10 周年となる記念の年(2010 年度)に、本学として初めてホームカミングデーを実施する。父母教育後援会では、春のオープンカレッジを同日に開催し、学生との交流や校友とのふれあいを通して父母に「立命館」の理解を深める機会を提供する。

日 時	6 月 6 日(日) 10:00~17:30
場 所	衣笠・BKC 両キャンパス
主 催	立命館大学
共 催	立命館大学父母教育後援会・立命館大学校友会

#### ②「父母委員地域ブロック懇談会」(仮称)の試行的実施

父母教育後援会として更なる事業の充実を図るためには、各地域の会員の意見をスムーズに吸い上げる仕組みが必要であると考え、このことから、「父母委員地域ブロック懇談会」(仮称)を試行的に実施する。なお、2011 年度以降のあり方については別途検討する。

開催(案)

地域ブロック	開催地	開催日	開催場所
北海道・東北ブロック	仙台市	9 月 04 日(土)	未定
九州・沖縄ブロック	福岡市	9 月 04 日(土)	未定
東海・北陸ブロック	名古屋市	9 月 11 日(土)	未定
中国ブロック	岡山市	9 月 11 日(土)	未定
関東・甲信越ブロック	東京都	9 月 18 日(土)	未定
四国ブロック	高松市	9 月 18 日(土)	未定

\* 地域ブロックについては校友会との連携を考えて区分した。

\* 近畿ブロックの開催については、参加対象者が常任委員会メンバーとほぼ同様となっているため、その実施方法については、別途検討する。

## 2010年度 立命館大学父母教育後援会予算（案）

### 収入の部

(単位:円)

項目	09年度 決算額	10年 予算額	説明
<b>経常収入</b>	<b>363,874,192</b>	<b>360,595,000</b>	
：会費収入	362,970,000	360,000,000	(年会費@10,000円、入会金@5,000円)
：過年度会費収入			
：卒業生父母資料費収入	284,000	280,000	卒業生父母の会(年会費@2,000円)
：預金利息収入	75,144	80,000	
：基金積立金利息収入	55,048	60,000	
：有価証券利息収入	490,000	175,000	学園債権利息をもとに計上(05年分:175,000円)
：雑収入			
<b>前年度繰越金</b>	<b>82,575,947</b>	<b>91,058,905</b>	
<b>収入の部 合計(A)</b>	<b>446,450,139</b>	<b>451,653,905</b>	

### 支出の部

項目	09年度 決算額	10年 予算額	説明
<b>I. 事業費支出</b>	<b>321,693,991</b>	<b>357,420,000</b>	
<b>1. 懇談会開催事業支出</b>	<b>107,563,270</b>	<b>108,375,000</b>	
<b>春のオープンカレッジ支出</b>	<b>16,370,535</b>	<b>15,700,000</b>	
：会場費支出			
：業務委託費支出	2,882,551	2,900,000	
：通信運搬費支出	3,513,732	5,500,000	
：印刷費支出	9,109,728	6,350,000	
：謝礼金支出	528,920	600,000	
：旅費交通費支出	94,190	100,000	
：雑費支出	241,414	250,000	
<b>都道府県父母懇談会支出</b>	<b>67,208,434</b>	<b>69,460,000</b>	
：会場費支出	42,222,222	43,000,000	
：業務委託費支出	1,351,211	2,500,000	
：通信運搬費支出	4,075,991	4,000,000	
：印刷費支出	5,022,769	5,100,000	
：謝礼金支出	575,517	600,000	
：旅費交通費支出	13,698,101	14,000,000	
：雑費支出	262,623	260,000	
<b>秋のオープンカレッジ支出</b>	<b>13,978,601</b>	<b>14,715,000</b>	
：会場費支出			
：業務委託費支出	6,333,722	7,000,000	
：通信運搬費支出	3,442,639	3,500,000	
：印刷費支出	2,264,472	2,260,000	
：謝礼金支出	241,098	240,000	
：旅費交通費支出	12,120	15,000	
：雑費支出	1,684,550	1,700,000	
<b>共通費支出</b>	<b>10,005,700</b>	<b>8,500,000</b>	
<b>2. 学生教育支援事業支出</b>	<b>162,508,492</b>	<b>195,800,000</b>	
サブゼミアワー活動支援支出	7,025,550	8,500,000	* 教育学部
父母教育後援会表彰制度支出	18,441,015	18,000,000	* 教育学部
課外活動支援支出	14,989,924	21,000,000	* 学生部
入学式典開催支援支出	7,000,000	7,000,000	* 教育学部
就職活動支援支出	42,000,000	42,000,000	* キャリアセンター
資格試験等図書支援支出	6,000,000	6,000,000	* 図書館
留学生支援支出	2,146,930	3,000,000	* 国際部(国民健康保険料補助)
国際交流事業支援支出	1,745,073	4,300,000	* 国際部
修学援助(緊急)奨励金支出	16,240,000	25,000,000	* 社会連携部
家計急変奨学金支出	46,920,000	60,000,000	* 社会連携部
学生教育支援事業 事務費支出		1,000,000	* 社会連携部
その他			
<b>3. 会報・学園案内広報事業支出</b>	<b>23,636,235</b>	<b>23,645,000</b>	
会報発行費支出	21,276,070	21,500,000	
ホームページ運営費支出	2,287,950	2,000,000	
謝礼金支出	72,215	70,000	
雑費支出		75,000	
<b>4. その他事業支出</b>	<b>27,985,994</b>	<b>29,600,000</b>	
入学記念品作成費支出	1,747,200	2,000,000	キャンパスカレンダー(2011年度版 新入生配布用)
卒業記念品作成費支出	8,405,334	9,000,000	記念品
父母成績送付費支出	2,833,460	3,600,000	
災害見舞金支出			
校友大会父母企画支出	5,000,000		
キャリア支援支出	10,000,000		
ホームカミングデー企画支出(共催)		10,000,000	
ブロック会議		5,000,000	
その他			
<b>II. 管理費支出</b>	<b>33,697,243</b>	<b>39,700,000</b>	
会議費支出	11,671,234	13,000,000	
事務費支出	3,641,653	3,200,000	
人件費支出	18,384,356	23,500,000	
<b>III. 予備費支出</b>		<b>35,000,000</b>	
<b>IV. 父母教育後援会基金積立金繰入支出</b>			
<b>当期支出合計(I+II+III+IV) (B)</b>	<b>355,391,234</b>	<b>432,120,000</b>	
<b>次年度繰越金 (A)-(B)</b>	<b>91,058,905</b>	<b>19,533,905</b>	

# 立命館大学父母教育後援会会則

## ■名称および所在

第1条 本会は、立命館大学父母教育後援会と称し、本部を立命館大学内に置く。

## ■目的

第2条 本会は、立命館大学(以下「大学」という)の教育方針に則り、大学と大学学部(以下「学部」という)に在籍する学生の父母又はこれに準ずる者(以下「学生の父母」という)との連絡を密にし、教育事業を援助し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

## ■会員の資格

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1)正会員 学部学生の父母
- (2)特別会員 大学に勤務する教職員
- (3)賛助会員 本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者

## ■事業

第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1)父母教育懇談会の開催
- (2)就職説明懇談会の開催
- (3)機関紙の刊行
- (4)学生の教育、厚生等に必要とする事業に対する援助
- (5)大学の教育、研究に対する援助
- (6)その他本会の目的を達成するために必要な事業

## ■総会

第5条 本会に、総会を置く。総会は、定期総会と臨時総会とする。

- 2 定期総会は、毎年1回開催し、臨時総会は、常任委員会の議を経て随時開催する。
- 3 総会は会長、副会長、監事、常任委員、委員及び幹事長をもって構成し、会長が議長となる。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 5 総会は、次の事項を決定する。
  - (1)会長、副会長、監事、常任委員及び委員の選出
  - (2)会則の改正
  - (3)事業計画及び予算、決算
  - (4)その他重要事項

## ■役員

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 3～5名
- (3)監事 2名
- (4)常任委員 若干名
- (5)委員 会員の在籍する各都道府県あたり1名以上
- (6)幹事長 1名
- (7)幹事 若干名
- (8)相談役 若干名
- (9)顧問 若干名

## ■名誉会長

第7条 本会に、名誉会長を置く。

- 2 名誉会長は大学長をもってあてる。
- 3 名誉会長は、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

## ■役員を選出

第8条 役員は、次の方法によって選出する。

- (1)会長、副会長、監事及び委員は、総会において正会員の中から選出する。
- (2)前号の規程にかかわらず、副会長のうち2名は副学長及び専務理事をもってあてる。
- (3)常任委員は、総会において委員の中から選出する。
- (4)幹事長及び幹事は、特別会員の中から会長が委嘱する。
- (5)相談役は、本会のために特に功労のあった者につき、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。
- (6)顧問は、大学関係者の中から、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。

## ■役員職務権限

第9条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、本会の会務および会計を監査する。
- 4 委員は各県での懇談会等を通じて会員の意見をまとめ総会に報告することができる。
- 5 幹事長は、会務を執行し、幹事は、これを補佐する。
- 6 相談役は、会長の諮問に応じ、常任委員会に出席して意見を述べることができる。
- 7 顧問は、常任委員会の諮問に応じ、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

## ■役員任期

第10条 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

## ■常任委員会

第12条 本会に、常任委員会を置く。

- 2 常任委員会は、会長、副会長、監事、常任委員及び幹事長をもって構成し、会長が議長となる。
- 3 常任委員会は、原則として年2回以上開催し、その議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 常任委員会は、次の事項を審議し、本会の運営を担当する。
  - (1)事業計画案及び、予算並びに決算書の作成
  - (2)事業計画の実施
  - (3)施行細則、規程等の制定及び改正
  - (4)相談役及び顧問の推薦
  - (5)その他の会務の執行に関する事項

## ■事務局

第13条 本会に、本部事務局を置き、社会連携部長もしくは次長がこれを統括する。

- 2 事務局は校友・父母課長がこれを担う。

第14条 本会に、支部を置くことができる。支部に関する事項は、別に定める。

## ■会計年度

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

## ■運営資金

第16条 本会の運営は、入会金、会費、寄附金及びその他の収入による。

- 2 入会金及び会費の額、並びにその納入方法は、次のとおりとする。
  - (1)正会員の入会金は、5,000円とする。
  - (2)正会員の会費は、年額10,000円とする。
  - (3)賛助会員は、年額1口30,000円以上とし、本会に納入する。
  - (4)正会員の入会金及び会費は、毎学年度の始めに納入しなければならない。
  - (5)会費等の徴収は、大学に委託して行う。

## ■会則の改正

第17条 この会則は、常任委員会の議を経て総会の決議により改正することができる。

## ■細則等の制定

第18条 この会則の施行に伴う細則、その他の規程は、常任委員会において定める。

附則 この規程は、1992年5月24日から施行する。

附則 (2003年5月24日 総会規程の変更に伴う改正)

この規程は、2003年5月24日から施行する。

附則 (2006年5月20日 事務局規程の変更に伴う改正)

この規程は、2006年5月20日から施行する。

附則 (2009年5月16日 機構改編による部課名の変更にともなう改正)

この規程は、2009年5月16日から施行する。

立命館大学父母教育後援会

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1  
TEL075-813-8261 FAX075-813-8262